

## 新型コロナウイルスワクチン接種時期に関するお知らせ

2021年8月28日

聖母病院産婦人科

現在、新型コロナウイルスワクチン接種時期について産婦人科外来に問い合わせをいただいております。以下に当院産科の対応をまとめましたので、ご一読ください。

ワクチン接種から手術までの期間が短い場合、術後の一時的免疫機能低下により抗体が十分に作られない可能性があります。また、ワクチン接種による発熱などの副反応と術後合併症との鑑別が困難になることも考えられます。そのため、一般に手術前後には一定期間あけてからワクチン接種を実施することが推奨されております。当院では、各学術団体の意見を参考に、手術前・後の2週間はワクチン接種を控えることが望ましいと考えております。

周知のように、妊娠の時期に関係なくワクチン接種をお受けいただけます。しかしながら、経膈分娩予定の方も分娩経過によっては帝王切開術が必要となります。このため、当院では、安心して出産に臨んでいただくためにも、妊娠35週ごろまでに2回目の接種を完了できるようにスケジュールを組んでいただきたいと考えております。なお、このことは妊娠35週以降の接種を禁止するものではありません。

何卒、ご理解のほどよろしく願いいたします。